

第41回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）

東北大会 秋田県予選 要項

- 1 主 旨（財）日本サッカー協会及び日本クラブユースサッカー連盟は、日本の将来を担うジュニアユース年代の少年達の、サッカー技術の向上と健全な心身の育成を図るとともに、クラブチームの普及と発展を目的とし、連盟第3種加盟登録チームの全てが参加できる大会として実施する。
- 2 名 称 第41回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）東北大会秋田県予選
- 3 主 催 （一社）秋田県サッカー協会 東北クラブユースサッカー連盟（U-15）
- 4 主 管 秋田県クラブユースサッカー連盟
- 5 期 日 令和8年4月19日（日）～5月31日（日）
- 6 会 場 スペースプロジェクトドリームフィールド、鹿角総合運動公園陸上競技場
ふれあいスポーツランドソラーレ、西目カントリーパーク 他
- 7 出場資格（公財）日本サッカー協会に第3種加盟登録し、なおかつ日本クラブユースサッカー連盟に2026年4月24日までに加盟登録されたチームであること。
- 1）2011年4月2日以降の出生者を対象とする。
 - 2）出場選手は他のクラブチーム及び中学校サッカー部に二重登録されていないこと。
 - 3）出場チームの同一下部組織第4種（日本サッカー協会クラブ申請済みクラブ）登録選手に限り、種別変更（移籍）せず第4種登録選手のままの出場を認める。但し、同一下部組織第4種登録チームを複数所有しているチームの選手登用は、いずれかの1チームからに限定するものとする。また、同じクラブ内の同じ年代の女子登録している選手も移籍を行うことなく出場することを認める。
 - 4）各チームの登録選手は、原則としてJFA発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※選手証とは、JFAのWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものを原則とする。
 - 5）帯同審判（2名）を帯同できること
- 8 出場チーム エストレージャ・FCあきた・YFCセレジェスタ・BTO FC
十文字FC・神岡FC
オープン参加：Lキッカーズマックス（順不同・敬称略）
- 9 表 彰 優勝に優勝カップ及び賞状、準優勝・第3位に賞状を授与する。
- 10 参 加 費 大会参加費8,000円を4月15日までに下記口座まで振込
秋田銀行 【店番】112 【支店名】秋田市役所支店
【普通預金】 1075120
【口座名】一般社団法人秋田県サッカー協会
会長 安井 誠悦

- 11申し込み 必要事項記載の上、メールにて送信すること。
kobuyoshi1987@gmail.com (小武海アドレス)
※予選リーグから参加するチームは**当該チーム初戦の前日まで**とする。
※決勝リーグから参加するチームは**決勝リーグ初戦1週間前まで**とする。
- 12その他 本大会上位2チームは、第41回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)東北大会に出場する資格を得る。
ただし、オープン参加のチームは東北大会への参加はできないため、Lキッカーズマックスが上位2チームに入った場合は繰り上げて参加チームを決定する。

第41回 日本クラブユースサッカー選手権 (U-15)

東北大会 秋田県予選 大会規定

- 1) ルールは現行日本サッカー協会競技規則による。
- 2) みちのくリーグ参加チームを除いた新人戦上位3チームのエストレージャ、FCあきた、YFCセレジエスタをシードとし、決勝リーグから参戦するものとする。
予選リーグは4チームによるリーグ戦を行ない、1位が決勝リーグに進出。
決勝リーグはシード3チームと予選リーグ1位の計4チームでリーグ戦を行う。
- 3) 試合時間は予選リーグについては70分（前後半35分、インターバル10分）とする。
決勝リーグは80分（前後半40分、インターバル10分）とし、競技時間内に勝敗の決まらない場合は引分けとする。
- 4) 予選リーグ及び決勝リーグの各順位の順位決定は以下の通りとする。
 - ①：勝点は、勝ち=3点 引分け=1点 負け=0点とし、勝点の多い方を上位とする。
 - ②：勝点と同じ場合は得失点差の多い方を上位とする。
 - ③：得失点差が同じ場合は得点の多い方を上位とする。
 - ④：得点も同じ場合は当該チーム同士の対戦結果にて決定する。
 - ⑤：④でも同じ場合は抽選とする。
- 5) 警告・退場について、大会期間中警告の累積が2回になった選手は次の1試合に出場できない。退場を命ぜられた選手は、次の1試合に出場できない。その後の処置については、大会規律委員会にて決定する。
- 6) 大会におけるチームスタッフ及び選手の登録はスタッフ5名以内・選手30名以内（内外国人選手5名以内）とする。なお参加申込後の大会登録選手の変更は、予選リーグ参加チームは予選リーグの第1戦の選手登録提出まで、決勝リーグ参加チームは決勝リーグ第1戦の選手登録提出まで変更できる。
試合毎の登録は交代選手を含め20名とする。選手の交代については、試合毎に登録した交代選手9名の中から5名まで交代を認める。決勝リーグ進出決定戦において延長戦に入った場合は、1名交代選手の追加を認める。一度退いた選手が再び出場することはできない。交代の手続きは従来通りサッカー競技規則第3条にしたがって行なう。なお、各試合の登録後試合開始までの時間に、怪我等の特別な理由により登録されたメンバーが当該試合へ出場することが不可能であると当該試合競技責任者が判断した場合のみエントリー内容を変更できる。
- 7) 選手登録用紙は、試合開始70分前までに会場本部へ2部提出する。
- 8) 選手の用具・ユニフォームチェックについて
 - 1) 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
 - 2) 正・副の2色については明確に異なる色とする。（GKはFPと色彩の異なる正・副2セット）

- 3) ユニフォームチェックは、**試合開始70分前**に各会場大会本部において行う。そのユニフォームは、正・副の両方を会場に持参すること。
- 4) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- 5) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- 6) ユニフォームの前面・背面には大会エントリー時に登録された選手固有の番号を付けること（GKを含む）。また、ショーツの番号については付ける事が望ましい。なおユニフォームの色・選手番号の大会エントリー以降の変更は認めない。
- 7) ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。
- 8) 本競技会に登録し大会初戦で着用したユニフォームからの変更は認められない（広告等を含む）
- 9) 選手交代回数の制限について
 - 1) **試合中の選手交代回数は3回までとする。**（1回に複数人を交代することは可能）
 - 2) ハーフタイムでの選手交代は、交代回数に含まれない。
- 10) 脳振盪による交代（再出場なし）について
 - 1) 脳振盪またはその疑いのある選手の交代（以下「脳振盪交代」という）は、通常交代に含まれない。
 - 2) 脳振盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行われなければならない。
 - 3) 脳振盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
 - 4) 脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1名1回の交代を追加で得ることができる（以下、本号に基づく交代を「追加交代」という）。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および追加交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
 - 5) 1試合における各チームの脳振盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする。
- 11) ユニフォームに表示する広告は、日本協会『ユニフォーム規程』に則る。

※日本サッカー協会ユニフォーム規程第10条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。
- 12) 各チームの登録選手について、写真付き選手証の不携帯若しくは選手証に写真を貼っていない場合は、出場を認めない。

※選手証とは、JFAのWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものを原則とする。
- 13) 参加資格の違反等の不都合な行為があった場合の処置については、大会運営委員会にて決定する。その後の処置については大会規律委員会にて決定する。

14) 暑熱対策について

- 1) 予選リーグ、決勝リーグとも、試合開始10分前の測定で、WBGT31℃以上の場合、試合を行わず中止とする場合がある。中止とする場合は予選リーグ及び決勝リーグでは引き分けとし、順位決定戦においては抽選で次に進むチームを決定する。なお、中止とせずに試合を実施する場合は、JFAの熱中症対策（Cooling Break）を行った上で、実施する。

15) 雷・荒天等不可抗力による中断・中止について

- 1) 当該試合が後半25分を経過していない状況での中断の場合は、原則として試合再開を検討する。試合再開は中断時から試合を再開し、選手は中断時の選手とする。なお、試合再開が不可能な場合は次のとおりとする。
 - ①：0-0の引き分けとし両チームに勝ち点1を与える。
 - ②：リーグ戦において勝ち点が並んだ場合は、不成立で得た勝ち点1は考慮しない（勝ち点1をマイナスする）。
 - ③：各決定戦では前半が終了していれば、中止時点のスコアで勝敗を決定する。※次の試合開始時間が近づいている場合は、次の試合を優先する。

- 2) 当該試合が後半25分を経過した状況での中断の場合は、原則として試合再開を検討するが、再開が不可能な場合はその時点の成績で試合成立とする。なお、各決定戦において同点の場合は抽選とする。

- 3) 各決定戦において、前後半が終了し同点の場合で、延長戦を行う事が難しい際は、延長戦を行わず即PK戦を行う。なお、PK戦も不可能な場合は両チーム同時優勝とし、秋田県の順位は抽選により決定する。

16) その他

- 1) チームベンチは、会場本部席からグラウンドに向かって左側ベンチをプログラム『大会日程』の左側に表記されているチームのベンチとし、対戦チームを右側とする。
- 2) 登録選手は、必ず全員傷害保険に加入していること。
- 3) 試合会場での応急処置は主催者側で行なうが、それ以降はチームにて行なうこと。
- 4) 出場予定チームの出場取りやめの場合、リーグ再編は行なわず、不戦扱いとする。その際の得点処理として、リーグの最大失点+1を失点として処理する。
- 5) 審判については各チーム帯同審判2名とする。割当表に従い対応すること。都合により対応できない場合は責任を持って他チームに変更をお願いすること。変更した場合は大会実施委員会まで速やかに連絡すること。
- 6) その他取り決めについては秋田県クラブユース連盟理事長・副理事長・大会運営委員長の話し合いにより決定する。